

地震一口メモ No. 204

京都府南部の地震活動について

京都府南部では、2022年3月31日から地震活動が活発となり、6月4日までに震度1以上を観測する地震が16回（震度4：2回、震度3：2回、震度2：4回、震度1：8回）発生しています。このうちM4.0以上の地震は4回発生しており、最大規模の地震は、3月31日に深さ13kmで発生したM4.4の地震、及び5月2日に深さ13kmで発生したM4.4の地震（ともに京都府で最大震度4、大阪府では最大震度3）です。地震活動は消長を繰り返しながら継続しています。気象台では今後も活動状況を注意深く監視していきます。

今回地震が発生した地域は、京都西山断層帯付近に位置していますが、断層帯と今回の地震活動との関係については不明です。

本活動での、震度1以上を観測した地震についての詳細は、下記の「週間地震概況」をご覧ください。

https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/divos_weekly.html

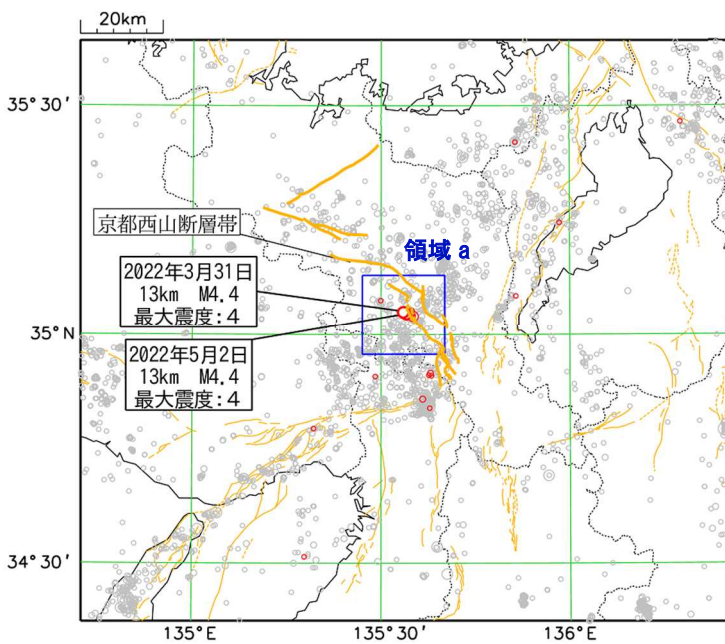


図1 震央分布図

(1997年10月1日～2022年6月4日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

- ※2022年3月31日以降の地震を赤く表示
- ※橙線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

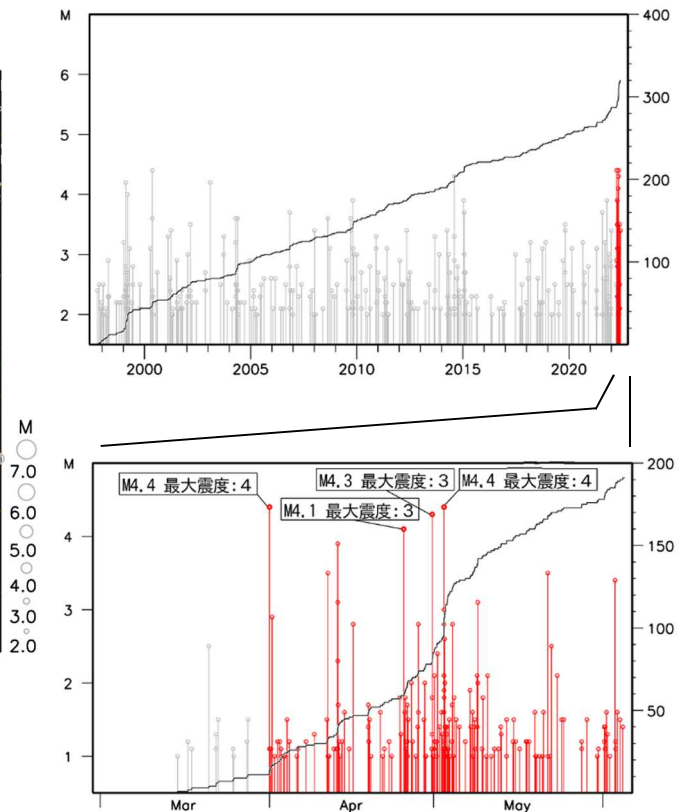


図2 図1の領域a内の規模別地震活動経過及び回数積算図

(上図：1997年10月1日～2022年6月4日、 $M \geq 2.0$ 、
下図：2022年3月1日～2022年6月4日、 $M \geq 1.0$ 、
2022年3月31日以降の地震を赤く表示)

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありません。
引き続き、日頃からの地震への備えを心がけてください。